

古塩まさよし

後援会だより

Vol. 12 2023年 秋号

〒252-1124 綾瀬市吉岡 3344
http://www.m-koshio-ayase.jp
Email:koenkai.koshio@gmail.com



アフターコロナ時代のまちづくり

盛況だった盆踊り大会

古塩

政由

今年の夏は市内各地で盆踊り大会が開催されました。ようやくコロナ対策の束縛から解放され、夏の風物詩、盆踊りが復活したと言えます。開催を決定してくださった自治会役員の皆様に敬意を表します。

私も、7月中旬から8月中旬までの間に、市内17か所の会場を巡ってきました。どの会場も、予想以上に参加者が多く、特に子ども達の姿が目につきました。3年半にわたるコロナ禍によって、私たちの行動が大きく制約されてきました。

たので、誰もが待ち望んでいた地域イベントだったのだと思います。

コロナは、これまでの地域の特性であった交流を通して「つながり」を弱めてしまいました。これからアフターコロナの地域づくりとして、これらの特性を回復していかねければなりません。

社会関係資本の蓄積

地域における個人間のつながりを「社会関係資本」と言い、人々の生活や地域、社会、経済を円滑に進める上で重要な要素になると考えられています。綾瀬市の「総合計画2030」でも強い「社会関係資本」に基づいた地域づくりを進めていくことを掲げています。

私は、盆踊りのどの会場でも「地域コミュニティは、地域の人々の活動や

交流があつて初めて生まれ、存続するもの

です。地域の方々が一堂に会し、『つながり』が生まれる盆踊りの復活は大変喜ばしい」と挨拶してきました。

昔は地縁関係が強く、相互扶助の精神が豊かだった、しかし今はそういった関係がなくなりつつあり、地域コミュニティが弱体化してきた、との声を聞きます。しかし、こうした関係は自然発生的に生まれるわけではありません。昔の人たちは、地域における共同感情が薄れることを危惧して、様々な活動を行ってきました。その一例が夏祭りや盆踊りで、「社会関係資本」を増強するために、大変な努力をしていたのです。

アフターコロナ時代に向けて

コロナによって人々の「つながり」が薄れてきた

今こそ、こうした活動をより活発に行うことが求められます。しかし、コロナ禍を経験した私たちは、過去のものをそのまま復活させることはできません。コロナ禍の経験から学んだことを生かす必要があります。『つながり』の重要性を再認識するとともに、その質を変えていく。地縁のような全人格的なものではなく、つかず離れずの緩い関係を創っていく。また、人々の生き方が多様になったからこそ、それらを受け入れる地域の寛容性も不可欠です。

アフターコロナ時代に向けて、様々な活動を通して人々の『つながり』を深める、この「社会関係資本」の蓄積に基づいて持続的な成長・発展を続けるまちづくりを進めていきたいと思えます。

市民の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



第3回
9/19

古塩まさよし後援会 日帰り研修旅行報告



吹割りの滝



群馬県の名勝地「吹割りの滝」を観光しました。

滝とはいえ、川床が割れていて、そこに水が落ちる珍しい滝で、「東洋のナイアガラ」と言われています。

遊歩道は片品川沿いにあり、川床のすぐ側を歩いて見学できました。

日帰り観光もできますので、一度は行って観たらいかがでしょうか。



9月19日に3回目の後援会研修旅行が実施されました。市内各地域から320名が8台のバスに分乗して、早朝に群馬方面へ向け出発しました。大変便利になった綾瀬スマートICから高速に乗り高坂SAで合流して、吹割りの滝や原田農園、道の駅川場田園プラザを周遊しました。

原田農園 あじわい工房



吹割りの滝を後にし、来た道に戻り原田農園に向かいました。到着するとあじわい工房の入り口で、古塩市長と夫人に出迎えていただき、2階のお食事処で昼食となりました。季節外れの暑さの中、熱々の料理を汗をかきながらいただきました。そして、古塩市長の挨拶を受けました。



帰り道

関越自動車道沼田ICから帰路につきました。行程の途中でにわか雨や高速道路での渋滞に少しあいましたが、午後7時ごろには無事帰ることができ、一日楽しい研修旅行でした。



道の駅 川場田園プラザ

雨上がりの澄み切った秋空を感じつつ、日本版ロマンチック街道のこんにやく畑を左右に軽快にバスを走らせ川場田園プラザを目指しました。

武尊山の麓に広がる自然豊かで緑あふれる田園に囲まれた道の駅でした。地元川場のミルクを使った「飲むヨーグルト」・川場のおいしい水を使ったフルーティな「川場ビール」・田園プラザおすすめの「ふわとろ食パン」、身体に入るものばかりでなく、身体を使ったアスレチックや散歩等でも十分に楽しめる場所ですが、少ない時間ではやはり回りきれなく残念でした。時間と予算に余裕を持って再度訪れてみたい道の駅でした。



原田農園 りんご狩り

昼食後りんご園に移動し、りんご狩りを楽しみました。赤く色づいたりんごをもぎ取り、皮を剥いて切ってから、又はそのまま丸かじりをして、新鮮なりんごを味わいました。もぎ取ったりんごを籠に入れて持ち帰る人も沢山いました。りんご園の帰りに突然の雨に見舞われましたが、何とか濡れずにバスに戻ることでほっとしました。お土産に「赤城」というりんごをいただきました。



古塩まさよし後援会 総務担当責任者 古山 豊

9月19日、4年ぶり第3回 後援会「研修旅行」を、暑さがまだ残る中320名もの多くの皆様の参加をいただき開催することができました。今回は多くの女性の方の参加をいただき、賑やかな旅行となりました。お陰様で事故もなく無事に催行できました。また、車中では、ビンゴゲームや滝の散策、りんご狩り、道の駅での話などで盛り上がり楽しく盛大に実施できました。これも、ひとえに参加者の皆様方、支部長さん、役員の方々のご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。今後とも当後援会に対しまして、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◇写真提供
古山 豊さん
伊藤和徳さん
比留川正昭さん
◇文責 編集委員会



選挙制度改革に期待

小器凡器の独り言……

古塩まさよし後援会

会長 近藤 巨



日本国憲法で選挙権は国民固有の権利とし（15条）選挙人の資格はこれを法律で定めるとし（44条）、また、地方公共団体の長、その議会の議員は、その地方公共団体の住民が直接これを選挙する（93条）と定めています。

を、あらかじめ供託しなければならぬ。

そして、選挙権および被選挙権などについては、公職選挙法に規定しています。被選挙権については、①日本国民であること、②市町村の首長と議員は年齢が満25歳以上であること、③市町村議員においては引き続き3ヶ月以上、その市町村の区域内に住所を有していること、さらに④市長選挙においては100万円、市議会議員選挙では30万円

を、あらかじめ供託しなければならぬ。さて、今年の統一地方選挙においては、首長も議員においても無投票当選がありました。綾瀬市議会議員選挙の投票率は、前回の39・95%をさらに下回った36・97%でした。これは、今回選挙が行われた県下14市町のうち最低投票率であり、大変残念な結果でした。

また、今回の選挙では有権者（満年齢18歳以上の者など）ではあるが、年齢が被選挙権に達していない若者が立候補の届出を行った。そして当然受理されなかった。ついでには、公職に立候補できる年齢を25歳か30歳に（参議院議員・知事）に制限している公職選挙法の規定は、国民主権などを定めた憲法に違反するとして、東京地裁に提訴したとの報道がありました。

思うに、若者が立候補できれば、当然その支持者などにより若者の投票率のアップが期待でき、更に全年齢層において、選挙への関心度も高くなるものと思われまふ。

そこで、被選挙権の年齢要件を無くして、選挙権を有する者すべてを対象とし、供託金についてもなるべく低額にする。そんな選挙制度改革を期待しております。



研修旅行を終えて

古塩まさよしレディーズ会長 柏木美奈子

9月19日、後援会日帰り研修旅行が開催されました。コロナ禍のため、今回が4年ぶりということもあり、参加者の方々からとても楽しみにしていますと言っていたきました。

9月中旬とは思えない厳しい暑さの中、バスは綾瀬スマートインターから群馬県へと向かいました。車中では、ガイドさんの説明に耳を傾けつつ、お隣さんとの会話も弾み、和気あいあいと過ごすことができました。ではないでしょうか。それぞれの見学地では、暑さに

も負けず楽しんでいただけたことと思います。特に吹割の滝は素晴らしい、一瞬の涼を楽しむことができました。又、りんご狩りは初めて体験できて良かった等の声がありました。帰りの車中で

皆様のご協力のもと、研修旅行が無事に実施できましたことを、心から感謝申し上げます。

後援会 活動報告



- ◎令和5年2月4日 「新春の集い」
- ◎令和5年9月19日 「研修旅行」群馬方面

- ◎令和5年10月7日 「市政報告会」オーエンス文化会館大ホール

- ☆今後の予定
- ◎令和6年2月18日 「新春の集い」オーエンス文化会館大ホール